

西念寺

西念寺の正確な建立年は不明です。しかし、現在の場所に移築される前、この寺はもともと鳥羽城の敷地内の最も外側にあったことは明らかになっています。西念寺は、九鬼家の後に鳥羽の領主となった徳川家の譜代、内藤家の菩提寺でした。境内の多くの建物は、内藤家の家紋である藤で飾られています。

寺の裏山の頂上には内藤家とその家臣の墓があります。また、西念寺は、強力な戦国大名織田信長が鳥羽を九鬼嘉隆に与える前にこの地域を治めていた橘宗忠（没年 1605）の墓もあります。宗忠は領主の座を追われたものの、自分の娘を九鬼嘉隆に嫁がせ、九鬼家の家臣となりました。